



保険クリニック

福岡でチャリティー野球教室
ソフトバンクホークスOBが指導

福岡ソフトバンクホークスOBの募集活動、2019年シーズンオフに福岡ソフトバンクホークスのOBを講師に迎えてチャリティー野球教室を開催した。当日は公募の中から選ばれた小学生98人が参加した。また、会場では「平成28年

熊本地震」への募金活動、「子どものみらい古本募金」活動の二つのチャリティー活動も実施。集まった寄付金3万9029円と古本類231冊は、それぞれ熊本県と内閣府運営の「子供の未来応援基金」を通じて寄付する。

保険クリニックでは、スポーツ事業に貢献することと地域社会の活性化とさらなるスポーツ文化の振興に寄与することを目的に、少年野球教室を開催している。今年、野球経験者グループと未経験者グループに分かれ、経験者グループでは基本的な技術の指導を、未経験者グループでは野球の楽しさを知ってもらうミニゲームを中心に行った。

講師を務めた福岡ソフトバンクホークスOBの新垣浩さんは、プロ野球選手を目指す子どもたちに向けて、「諦めてしま

ったら終わりだが、諦めずに頑張り続けられればプロになれる可能性はある」、同じく講師を務めた城所龍磨さんは「大きな夢を持って、夢に向かって努力してほしい。努力したことはその先の人生に必ずつながる」とメッセージを送った。

参加した小学生からは「施設、設備がすごかった。バッティングは腰が早く開いてしまっているんで、おへそをぎりぎりまで動かさないよう意識するようにとアドバイスをもらった」「バッティングの時、2ストライクまで恐れるなどアドバイスをもらった。将来の夢はプロ野球選手で、ソフトバンクの選手になりたい」などの感想が寄せられた。

保護者からは「最初は緊張していた息子も、始まってみればとても楽しんで見ることができ、一緒に楽しむことができた。講師の子どもに対する接し方も優しく、子どもたちも安心して参加できたと思う」などの声も寄せられた。